

下妻市定例教育委員会（令和５年１０月２５日）会議録

１．開催日時	令和５年１０月２５日（水） 午後３時００分 開会 午後４時２０分 閉会
２．開催場所	下妻市役所本庁舎 ３階 会議室３－２
３．出席委員	教 育 長 中山 均 教育長職務代理者 齊藤 修一（欠席） 委 員 青木 明美 委 員 赤荻 由美 委 員 山口 政志（欠席）
４．委員以外 の出席者	教育部長 横瀬 哲彦 教育部参事 圓崎 佳江 学校教育課長 國府田 聡 生涯学習課長 佐久間 秀樹 図書館兼公民館長 吉 川 淳 学校教育課長補佐 板橋 孝子 学校教育課係長 高崎 みゆき（欠席）
５．議事録署名人	青木 明美委員
６．協議事項 及び研修	（１） 令和５年第４回下妻市議会定例会の提出議案に対する意見 について （２） 令和５年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評 価に関する報告書（令和４年度対象）について （３） 下妻市立小中学校適正規模適正配置検討委員会委員の委嘱 について
７．議事の概要	
教育長	<p>１０月の教育委員会を始めたいと思います。今回の議事録署名人は、青木委員さんをお願いしたいと思います。 初めに諸般の報告を指導課からお願いします。</p> <p>【指導課から報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症による学級閉鎖等の状況について ・各種研究発表会の状況について ・中学生英語キャンプの実施について
教育部参事	

教育長	学校教育課からお願いします。
学校教育課長	【学校教育課から報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回下妻市立小中学校適正規模適正配置検討委員会について ・教職員等の選挙運動の禁止等について
教育長	生涯学習課からお願いします。
生涯学習課長	【生涯学習課から報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館、千代川体育館に設置しました空調設備の視察について（尼崎市議会の視察） ・下妻市の文化祭について
教育長	公民館図書館からお願いいたします。
図書館兼公民館長	【公民館と図書館から報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度公民館まつりについて ・図書館通信11月号の発行について
教育長	最初に議案34号、令和5年第4回下妻市議会定例会の提出議案に対する意見についてです。事務局からお願いします。
教育部参事	【資料により説明】 <ul style="list-style-type: none"> ・下妻市教育支援センターの設置及び管理に関する条例について ・旧千代川庁舎南棟のスクールサポートセンターが旧ハローワーク下妻へ移転することに伴い、当該施設を下妻市教育支援センターとして位置づけ、地方自治法第244条第1項に規定する公の施設とするため、同法第244条の2第1項の規定に基づき、この設置及び管理に関する条例を制定するもの
学校教育課長	【資料により説明】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度下妻市一般会計補正予算第5号について ・債務負担行為補正（小学校の教科書改訂に伴い、令和6年度において教師用指導書と教科用教材を購入するもの）
生涯学習課長	【資料により説明】 <ul style="list-style-type: none"> ・各社会教育施設の光熱水費の増額の補正予算について

図書館兼公民館長	<p>【資料により説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 千代川公民館の空調設備改修工事に係る補正予算について
教育長	<p>ご質問等ございましたらお願いしたいと思います。 よろしいですか。</p>
委員	<p>【承認】</p>
教育長	<p>続きまして、報告第11号、令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書（令和4年度対象）について説明をお願いします。</p>
学校教育課長	<p>【資料により説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書（令和4年度対象）について（学校教育課） 小中学校就学援助事業について 小中学校プール大規模改修事業について
教育部参事	<p>【資料により説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立幼稚園・学校訪問事業について 教育支援センター運営事業について
生涯学習課長	<p>【資料により説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生き生き出前講座事業について ふるさと博物館運営・管理事業について
図書館兼公民館長	<p>【資料により説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 千代川公民館維持管理事業について 資料選定購入事業について 映画会開催事業について
教育長	<p>委員の皆さんからご質問等ございましたら、お願いしたいと思います。何かございますか。</p>
赤荻委員	<p>こちらに載っている事業全てについて意見を求めたのではなくて、結果が出ている事業について意見を求めたのでしょうか。</p>

学校教育課長	まず評価は、評価書を使って全ての事業をやっております。その上で非常に事業数が多いので、全てについてヒアリングいただいたり、評価をいただいたりというのが難しい状況にありますので、事務局で案を示させていただいて毎年、同じものにできる限りならないように、概ね、各課4事業程度ずつ、ヒアリングをしていただいています。
赤荻委員	よくわかりました。評価結果はいい結果だと思います。こういう結果が出てるのが、きっと下妻市の教育事業の強みなんだと思うのですが、評価されている部分を更に、今後も継続事業の方針としては継続していくし、手段は妥当だということがあるかと思うので、その手段を取りながら、更に素晴らしいものにしていけるよう取り組んでいただきたいと思います。
教育長	はい。ありがとうございました。 青木委員さんどうですか。
青木委員	不登校の支援については、国会等でも取り上げられているように、非常に今の学校の課題になってるのだなと思います。また、社会教育の講座のテーマに偏りがあるという意見がありましたが、ある程度人気のある講座との偏りは仕方がない部分もあると思います。また、博物館は、立派な市立博物館があつて、そこでいろんな企画を考えて催しをやられていると思うので、引き続き運営管理をよろしくお願いします。また、文化事業では、今、文化会館が使えないというのは、市民の方からみると、やはり不自由さを感じるころではあるのかと思います。千代川公民館だとできる規模というのが限られるので。また、図書館については、さまざまな催しを企画していただいていると思いますが、これからいろいろ市民のリクエストをもとに頑張ってください。よろしくお願いします。
教育長	今のご意見で、指導課から答えられる範囲で。
教育部参事	不登校については5月に今、例年行っている国の調査に絡んで本市でも毎月、状況を把握しておるのですが、昨年度までコロナ禍を経て上昇しているというのは、国と同じ傾向でございます。各学校とも何ができるかということで、市としては、下妻中学校で教育支援

	<p>センターとフリースクールを作って何名かの子どもを対応している状況です。そうした取り組みが広げられるかどうかはわかりませんが、市のスクールサポートセンターの移転もございますので、そういった新たなサポートセンター、学校の中の支援センターなどの校内フリースクールなど、さまざまな取り組みを通して、学校のクラスには入れないけれども、そういったところに来られることで学習の保障、学びの保障ができたりとか、人との関りを絶たないで社会的自立に繋がられるようにというのは、これから綿密に計画しながら取り組んでいかなければと思っているところです。</p>
教育長	生涯学習課から、お願いします。
生涯学習課長	<p>まず博物館なんですが、今は収納資料 7,017 点、保管させていただいて開館 28 年でございます。昨年からの分散開催ということで文化祭は、展示グループをやらせていただいています。実は、団体の状況で、今までのように文化祭で、団体でパネルを設置してということが、なかなか厳しいということもあります。ので、展示に特化してる施設があつて良かったという、そういうご意見を多くいただいています。また、博物館来館者は小学校の見学は多いんですが、若い世代の方々が少ないので、もう少し広範囲に、例えば、歴史の講座や文学の講座などができればいいんですが、なかなか、職員配置等もあり講座の開設は苦慮しております。</p>
教育長	公民館図書館から、お願いします。
図書館兼公民館長	<p>現状、千代川公民館が市内では唯一、ホールがあるということで文化会館の代替えとして、規模が若干違うんですが、対応しているところです。今回の補正予算の方にも上がりましたが、設備の方の非常に苦しい中ということでございまして、今回、空調設備の改修の予算もつけていただき、ほっとしております。老朽化はしていますが、何とか保っていけるように対応していきたいと考えているところです。ホールに関しては、文化会館はどうするかという大きなあり方検討のところなので、全体の施設のあり方について、これから協議が進んでいくのかなと考えております。</p>
教育長	千代川公民館は、キャパの違いはあるんですが、文化活動は今まで通りにやっていくということで、そこはご理解いただければありが

委員	<p>たいなと思っています。</p> <p>では、事務事業の点検評価については、よろしいでしょうか。</p> <p>【承認】</p>
教育長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>続きまして、報告第12号、下妻市立小中学校適正規模適正配置検討委員会委員の委嘱についてです。学校教育課から、お願いします。</p>
学校教育課長	<p>【資料により説明】</p>
教育長	<p>適正規模適正配置の検討委員会について、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>【承認】</p>
教育長	<p>議案は以上で終了します。</p> <p>その他、今までのところでご意見等ございましたら、お願いします。</p> <p>赤荻委員さんから。</p>
赤荻委員	<p>先ほどの不登校の話ですが、私が不登校の対策に関わっていた頃は1%ぐらいだったのが、今はたぶん3%に近い数字になってるようで、この20年で3倍ということは、すごくショッキングなことでした。つくばでもフリースクールを各学校に1つずつ設けてると聞きました。例えば、じっと授業を聞いてられないという子なども、そういう子たちをどう支援するかというときに、そういうフリースクールのようなところがあるというのが安心材料になったり、逆にそれをどう保護者が受け止めてるかというあたりとかがあったり、学校の中でも試行錯誤しているような状況なのかなと思います。下妻市に専門の支援センターがあって、そこの支援員さんを増やそうというようなことが、先ほどの報告書にありましたけども、そういう方向にきてるということは、当たり前と思わずにありがたいことだと思わないといけないと思います。</p> <p>また公民館とか、図書館とか、ふるさと博物館とか、そういうところが、また、そういう子たちの居場所として、学校以外にもそういういわゆる学びの保障という意味では、保障してくれる場所であるという意識を、社会が受け皿になるという意識をもってもらうことも必要かと。施設のあり方を変えていくという、先ほどの文化会館</p>

青木委員	<p>のことでもありましたが、あり方を変えていくというときには、社会のニーズとか、情報とかを集めて、そういうのに対応しようとしてくださっているということが、今日はすごくよくわかりました。</p> <p>先ほどの適正規模適正配置の検討については、小さい学校がなくなるという目的の会議ではないのですが、やはり、現在の小規模の学校のPTA会長さんや代表さんが委員になってくれて、皆で話し合いをして、納得して進めていけばいいなと思います。</p> <p>また、不審者情報が流れる茨城ポリスの情報をみると、小学生への声かけ事案などもあり、改めて、登下校の見守りが重要、必要だと感じています。以上です。</p>
教育長	<p>赤荻委員さんから出た不登校についてですが、義務教育イコール学校教育ということでは、解決ができない時代になってきていると思います。学びの保障とでましたけども、学校に来る来ないにこだわるんじゃないなくて、その子どもたち一人ひとりの学力をどう保障してやるかというのを考えるのが、これからの教育委員会がやらなくてはならないことなのかなと思っています。教えるのは学校だけではない時代になってきているという認識でいますし、教育の形は、もっと多様化していかなければならないと思っています。その多様化イコール、やはり教育は人なりと言いますが、費用もかかります。例えば、サポートセンターの話が出ましたが、やはり人を配置するためには、そこが魅力あるところでないと人員を確保できない。そういうところも今後の課題と考えています。</p> <p>また、今度、コミュニティスクールが来年全校でスタートします。コミュニティスクールのように、地域も含めて、その地域の子どもたちの学力を保障していければというそういうビジョンで不登校の子は対応していければと考えています。</p> <p>もう1つの学校の適正規模適正配置の検討ですが、統廃合ありきではなくて、子どもたちの教育環境を整備していく上で、どういう形がいいのかというところから入っていきたいと思っています。子どもたちの教育環境というところの話が飛ばされて、結果だけの話になってしまわないようにしたいと思っています。</p>
赤荻委員	<p>統廃合は、結果だと私も思います。何故そうしないといけないのかというような見方が大切で、学校を無くすなくさないということではなく、その目的がなんなのかというところを十分意識していかな</p>

教育長	<p>いと思います。</p> <p>最後に、その他ありますか。</p>
学校教育課長	<p>【事務局から連絡】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の定例会について ・ 大形小学校の遠隔教育の実証研究の公開授業について
教育長	<p>以上で、定例の教育委員会を終了といたします。</p>